

須賀の新規営農者農地の状況

家庭菜園の「農地の貸し借り」の紹介を始めています。



昨年から新規営農者の参入実態のご紹介をしておりますが、農地中間管理機構(みどり公社)を通じて2.45ha(2.45町歩)が認定営農者によって活用されています。須賀の農地は10.7ha(農業振興区域:7.3ha、生産緑地:3.4ha、左記以外は除く)高齢化や後継者問題を抱えた農家の実態から法律によって農業経営の基盤強化と集積が可能となっています。須賀では市町村の集積計画のもとに、農地中間管理機構(みどり公社)によって進められてきました。

地図上の農地は農家の貸農地の申出によってみどり公社が借り上げた後、認定営農者に貸し出された農地です。現在3認定営農者がその受け皿となって農地を活用しています。この結果、これまで長く放置された休耕農地も新たに活用されています。このように望ましい地域環境の実現を進めています。

一方、農地中間管理機構を通じても借り手の見つけにくい農地(市街化農地や機械進入路の無い農地等)が点在しています。このことから地域住民への家庭菜園用農地として、昨年より貸し借

りの情報発信を始めました。この春から住民の方が家庭菜園を始められています。この活動は当面引き続き続けたいと考えています。

家庭菜園の借り受けを希望される方は町会長を通じて申し出てください。来年度(来春スタート)の貸借りの申出の受付は11月末までとなっています。

(尚、希望条件にそえない場合がありますのでご承知ください。)

家庭菜園用農地の紹介は下記のように行います

1. 農地所有者からの「貸農地希望の申し入れ書」の提出
2. 住民の方の家庭菜園農地の「借入希望申し入れ書」の提出(受付は須賀町会)
3. 「須賀農空間づくり協議会」にて、貸農地情報と借り農地情報の照合
4. 当事者(農家と借入れ希望者)の話し合い
5. 当事者で利用契約書締結

伏山台幼稚園とびっく



市内幼稚園交流の為に
かわいいバスを利用しています



小学校と同じ給食が始まりました。

情報誌すが編集委員

編集長: 井上利夫
 発行者: 連合町会長 田中義記
 編集委員: 谷口均、松永勉、高田寛教
 阪井ひとみ、林澄子、楓綾子
 編集委員を募集しています。



情報誌



発行
 令和3年9月20日
 須賀連合町会事務局
 編集責任者 井上利夫
 発行責任者 田中義記
 須賀2丁目10-30
 TEL: 28-1997

須賀町 | 住民数 2,644人
 8月現在 | 世帯数 1,272世帯

ごあいさつ

コロナ禍については、皆さん方がよくご存じの通り推移していますが特に最近では、インドや南米の変異種の脅威が増しています。そしてワクチン未接種の方に流行しています。若年者のワクチン接種はもう少し先になりそうですが、引き続きの感染予防対策が肝要です。

そんな中、今年度も「盆踊り」「秋祭り」が自粛せざるを得ません。もう少しの辛抱、地域住民の不安要因を取り除くためにも密そのものの形である伝統行事の断念は誠につらいものですが、諸環境をお汲み取り頂きご理解のほどお願いします。

富田林市で取り組まれている事業は2つあります。一つは、富田林市福祉計画(富田林市福祉活動計画)は、行政機関と地域で「増進型地域福祉社会」を目指すものです。現在第3期活動計画の最終年で令和4年度から5年間で第4期

須賀連合町会長 田中義記

が展開されます。須賀はひとつの理念のもと皆さん方と一緒に考えていきたいと思えます。

もう一つは、「SDGs(持続可能な開発目標)未来富田林市です」2030年度までに策定し実践するもの「誰一人として取り残さない」理念のもと環境や、ジェンダーフリー等の課題他未来指向の地域社会の醸成を目指すこととなります。



錦織神社改元事業完成「奉告祭」



新設された駐車場と大鳥居

令和元年4月から錦織神社の氏子崇敬者にご寄付をいただき工事を進めておりました大鳥居新設・駐車場新設・本殿の塗復元の事業がこのほど完成し、9月5日に完成奉告祭を執り行いました。当日は、氏子町会の町会長、氏子総代と神社・工事関係者が出席のもと厳粛に行われました。

新設なった大鳥居は高さ5メートルの豪壮な佇まいで大鳥居から眺める神社本殿は重要文化財にふさわしく厳かな眺望です。参拝者は大鳥居横の神社専用駐車場に車を止めて大鳥居をくぐり参道を歩いて参拝する本来の形に戻りました。大鳥居は最近の安全基準に則って建造されており地面深く基礎が築かれています。大鳥居をくぐると左右の灯籠にそって参道を歩き200メートルほど歩くと本殿のある社殿につきます。

今後は、本殿を含め維持修復が大切になってきます。孫子の時代まで地域の安寧と食物への感謝、安全な日々を過ごせるようにと願ってやみません。

済生会 富田林病院建替工事 令和3年秋頃全館完成予定

建物の規模は、地上6階、地下1階、延べ床面積約21,000平方メートル、病床数は260床です。

新病院については、済生会が病院開設者となり、救急医療や地域包括ケア、お産センター、小児医療など、総合的な医療を提供し、市民の皆さんの安心安全を支え信頼される公的病院としての役割を担ってまいります。(富田林市HPより)

現在、一部診療科あり完成時には全診療科診療



